

合格証明書



GODOX WeChat 公式アカウント

深セン市神牛摄影器材有限公司

所在地：深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区工場 2 棟

電話：0755-29609320(8062)

FAX:0755-25723423 メールアドレス：godox@godox.com

www.godox.com

Made in China | 705-V100C0-18

UK
CA

CE

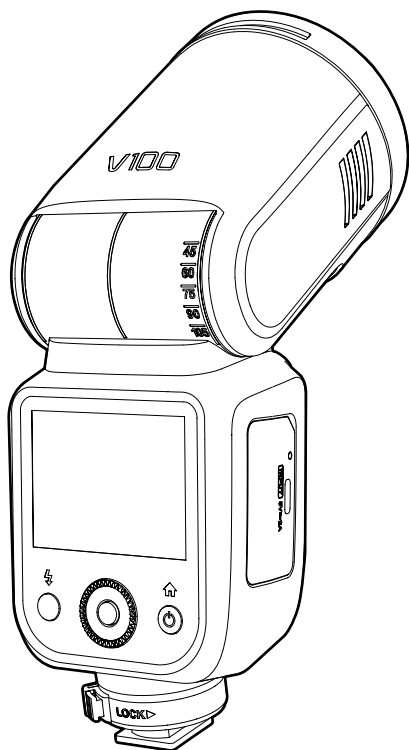
FC



Godox

V100

TTL リチウムラウンドヘッドカ
メラフラッシュライト



取扱い説明書

目次

01	この取扱い説明書について
02	重要な安全説明及び注意事項
04	前書き
05	部品名
	本体
	分割式サブフラッシュライト SU-1
	2.3 インチカラータッチパネル
06	梱包物
06	オプション
07	電池の着脱
07	電池残量表示
08	フラッシュライトの着脱
08	分割式サブフラッシュライト SU-1 の着脱
09	電源管理
09	ヘッドカメラモード
	M: 手動フラッシュモード
	TTL: TTL 自動フラッシュモード
	ズーム: フラッシュライトカバー範囲の設定
	サブライト: 分割式サブフラッシュライト SU-1
11	マスターモード
	グループ
	M 手動フラッシュ・フラッシュ効率
	TTL 自動フラッシュ・フラッシュ露出補正量
	グループ全体のパラメータ統一調整
	ズーム: フラッシュライトカバー範囲の設定
13	スレーブモード
	グループ
	TTL: TTL 自動フラッシュモード
	M: 手動フラッシュモード
	フラッシュパワー設定
	ズーム: フラッシュライトカバー範囲の設定
14	その他の機能
	同期方式
	自動サブフォーカスライト
	光制御フラッシュトリガー (V100 O)
	ブザー設定
	造形ライト設定
	画面ロック
	ストロボフラッシュ
17	ワイヤレス設定
	アイドルチャネルのスキャン
	チャネル設定
	識別番号設定
	ワイヤレス同期
18	メニュー設定
20	ワイヤレスフラッシュ撮影 (2.4G ワイヤレス伝送)
21	ワイヤレスマスター / スレーブ設定
21	マスターユニットについて
22	マスターユニット (フラッシュライト) フラッシュオン / オフ (V100 C のみこの機能を備える)
22	TTL: 全自動ワイヤレスフラッシュ撮影
25	M 手動フラッシュのワイヤレス (多重フラッシュ) 撮影。
25	ストロボフラッシュのワイヤレス (多重フラッシュ) 撮影
26	その他の応用
	同期ソケットトリガー
	造形フラッシュ
	反射フラッシュ
	電池残量不足警告

- 27 カメラメニューでフラッシュライトを制御する
 (V100 C のみこの機能を備える)
- 28 グローバルシャッター同期撮影
 (V100 S のみこの機能を備える)
- 29 保護機能
- 30 Godox2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因及び解決策
- 31 仕様
- 32 トラブルシューティングガイド
- 33 ファームウェアアップデート
- 33 利用できるカメラリスト

この取扱い説明書について

この取扱い説明書では、カメラとヘッドカメラフラッシュライトの電源スイッチがオンになっていることを前提としています。

この取扱い説明書において、▲ このアイコンに記載されている事項は、撮影上の問題が発生しないようにするために注意しなければならない事項であり、このアイコンに記載されている ⓘ 情報は本書に記載するある機能の補足情報です。

重要な安全説明及び注意事項

本製品は専門的な撮影装置であり、専門者によって操作する必要があります。使用する際に遵守すべき基本安全対策：使用前に製品の運送保護材と梱包材をすべて除去してください。

1. 製品を使用する前に、取扱説明書をよく読んで完全に理解し、説明書の安全提示に厳密に従って操作してください。そうしないと、死亡、重大な傷害、製品の損傷、その他の財産損失を招く恐れがあります。
2. これはプロの照明器具であり、子供の使用は禁止されています。子供が近くにいる場合、親または保護者は、子供が照明器具にぶつかったり、使用したりすることによる人的傷害を避けるために、注意深く監視する必要があります。
3. この照明器具は通常の照明器具ではありません、一般照明には使用できません。目に損傷を受けている方や目が敏感な方は、この照明器具を使用しないでください。
4. 火傷を避けるために、フラッシュチューブなどの高温部に触れないでください。火傷の原因となります。
5. いかなる場合でも、フラッシュライトを直接人の目（特に赤ちゃんの目）に向けてはなりません。短時間で視力障害を引き起こす可能性があります。目に不快感があったら、直ちに照明器具を消し、使用を中止し、直ちに診察を受けてください。
6. 破損した機器や機器の付属品を使用しないでください。また、専門の保守担当者が点検と修理を行い、機器が正常であることを確認してから使用してください。
7. 使用中に落下、圧迫、または強い衝撃により製品のケースが破損した場合は、内部の電子部品との接触による感電と傷害を避けるため、使用を中止してください。
8. この機器は防水機能を備えていません。水や他の液体の浸入を避けてください。換気が良い乾燥場所に設置してください。雨天、高温、ほこりの多い又は高温環境では使用しないでください。危険事故を防ぐため、設備の上に物を置いたり、液体を内部に流させたりしないでください。
9. 許可を得ることなく、この製品を勝手に分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
10. この機器を保管する前に、機器が完全に冷却したことを確認してください。
11. アルコール、ガソリンなど、可燃性や揮発性溶媒やメタン、エタンなどのガスの近くに置かないでください。
12. 爆発の危険がある環境での使用や保管は禁止されます。
13. 運転中と運転後、機器のヘッドとユーザーや他の人、および感熱性又は可燃性物品との間には、常に少なくとも1メートルの距離を維持しなければならない。
14. 当社が承認されていない部品を使用しないでください。火災、感電、人身傷害の原因になります。
15. 機器を清掃するときは、乾燥した柔らかい布でやさしく拭いてください。湿った布を使用してはいけません。そうしないと機器が破損する可能性があります。
16. この取扱説明書は、厳密な試験に基づいて制定され、予告なく設計と仕様変更を行う場合があります。お客様は、神牛の公式ウェブサイトでの最新の電子版説明書を確認し、最新の製品情報を把握することができます。
17. この製品はリチウムバッテリーで電力を供給しています。リチウムイオンバッテリーの耐用年数は限られており、電力蓄積能力が不可逆的に徐々に失われます。バッテリーが老化すると、製品の持続使用時間が減少します。リチウムイオンバッテリーの耐用年数は2～3年と予測されます。定期的にバッテリーの状態をチェックしてください。充電時間が大幅に長くなり、持続使用時間が顕著に減少したりした場合は、新しいバッテリーの交換を検討してください。
18. リチウムバッテリーを搭載しており、次のように貯蔵してください：貯蔵する前に、約50%の電力量まで充放電してください。少なくとも6ヶ月に1回約50%の電力量まで充電してください。取り外し可能なバッテリーは単独で保管してください。貯蔵温度は0°Cから40°Cの範

囲内に制御してください。

19. バッテリー使用上のご注意：

- バッテリーを分解したり、押し付けたり、刺したりしないでください。
- バッテリーは防水機能を備えていません、バッテリーを霧や水に浸してはいけません。
- バッテリーの接点の短絡を避けてください。
- バッテリーを火の近く、又は火の中に投げないでください。
- バッテリーを 60℃以上の高温環境に置かないでください。
- バッテリーをお子様の手が届かない場所に置いてください。
- バッテリーに強い衝撃や振動を与えないでください。
- 破損したバッテリーは使わないでください。
- 漏れが発生した場合は、漏れた液体には接触しないでください。
- バッテリーの液体が目に着した場合、すぐに水で少なくとも 15 分間洗い流し、まぶたを開けて液体の感覚がなくなってからすぐに診察を受けてください。

20. バッテリーを処分する前に、現地の法律法規を確認し、遵守してください。

21. この機器の保証期間は 1 年です。消耗品であるバッテリー、アダプター、電源ケーブル、およびその他の付属品は、保証の対象外です。

22. 自分で勝手に修理する場合は保証資格を取り消し、修理費用を請求します。

23. リチウムイオンバッテリーを受け取ってからバッテリーの状態、バッテリー残量を検査してください。品質問題があれば、保証期間内に Godox 又は Godox が承認された販売店にお問い合わせください。

24. 不適切な操作による故障は、保証対象外です。

前書き

Godox の製品をご購入いただき、ありがとうございます。

タッチパネル付きラウンドフラッシュライト-V 100 は、その卓越した互換性で TTL 自動フラッシュ技術に完全にフィットします。このフラッシュライトを使用すると、頻繁に交換する光環境でも、これまでにない撮影の便利さを楽しむことができます。このシリーズのフラッシュライトは、以下の核心的特徴を備えています。

迅速制御: 2.3 インチのカラータッチパネルと物理ボタンがあり、どちらも使用でき、直感的で使いやすい。

高速連写 (V100S): グローバルシャッターカメラとシームレスに協働し、フラッシュ同期速度の制限を突破する。

円頭レンズ設計: 円頭レンズは、均一で柔らかい補光効果を提供できる。

高いフラッシュ性能: 100Ws フラッシュ効率、81 段パワー調整、様々な撮影ニーズを満たすことができる。

LED 造形ライト: LED 造形ライトを内蔵し、輝度を調整でき、光効果を事前に確認できる。

高性能電源: 7.2V/2980mAh リチウム電池を装備し、フルパワーで 400 回フラッシュでき、リサイクルタイムが短い (1.7s)。

TTL 互換性: TTL 自動フラッシュをサポートし、操作しやすい。

ワイヤレス機能: 2.4G ワイヤレスフラッシュトリガーを内蔵し、撮影の可能性を拡張する。

拡張部品: 外付け電源ボックス (PB960、別途購入必要) を使用でき、撮影効率が高い。SU-1 サブフラッシュライトを使用できる。

プロの機能: 手動フラッシュ、ストロボ、高速同期、後幕同期、フラッシュ露出補正などに対応できる。

安定した出力: 高速連写時にフラッシュ出力の色と輝度が一致することを保証する。

ファームウェアアップデート: ファームウェアを定期的にアップデートし、最新のカメラモデルと互換性があり、最適な性能を確保する。

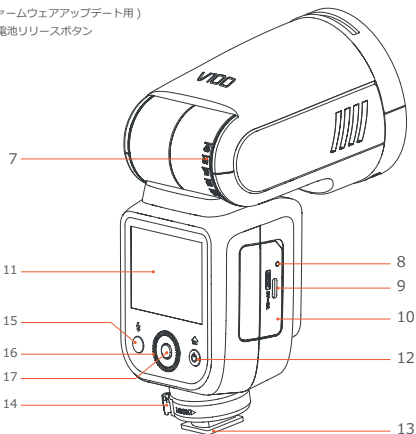
互換性: V100 C はキヤノンカメラ、V100 S はソニーカメラ、V100 N はニコンカメラ、V100 O はオリンパス / パナソニックカメラ、V100 F は富士カメラに適する。

注: フラッシュライトの電源ボックス PB960 は別途購入してください。

部品名

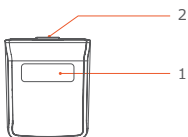
本体

1. フラッシュライトの口金
- 2.LED 造形ライト
3. 外付けフラッシュライトコネクタ
(SU-1 サブサイトなどの付属品を装着できる)
4. ワイヤレスセンサー
5. 補助フォーカスライト
6. 外付け電源ボックスコネクタ
(PB960 電源ボックス接続用、電源ボックスは別途購入必要)
7. 反射角度の目盛り
8. 電池充電インジケータランプ
(充電時に赤く点灯し、充電完了後に緑になる)
- 9.USB Type-C 充電ポート (電池充電用)
10. リチウムバッテリー
11. カラータッチパネル
12. 電源ボタン
(1回短押ししてモード / 戻りモード画面に入り、2回短押しするとその他の機能画面が現れる。)
13. ホットシュー
14. ホットシュー固定ボタン
15. フラッシュ試験ボタン / 充電インジケータ
16. 調整ダイヤル
17. 設定ボタン
(短押ししてある項目を選択又は確認する)
18. 同期ソケット
- 19.USB-C ファームウェアアップデートポート
(ファームウェアアップデート用)
20. 電池リリースボタン

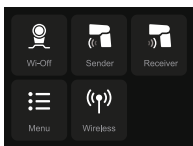


分割式サブフラッシュライト SU-1

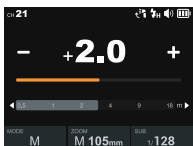
1. ランプ
2. 差込ロブッシュ



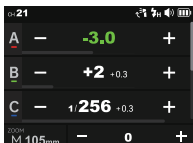
2.3 インチカラータッチパネル



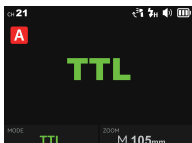
モード画面



マスターモード

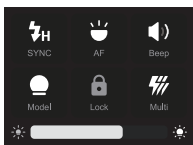


マスターモード



スレープモード

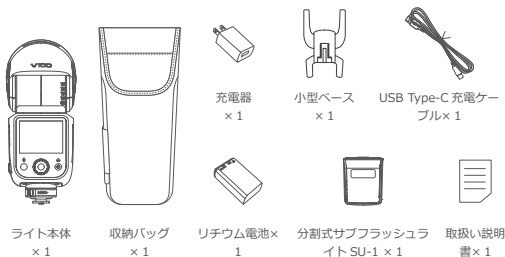
(上記は V100 マスター画面であり、他の型番の画面はわずかに違う場合がある)



その他の機能画面

(V100 O フォーカス補助ライト表示なし)

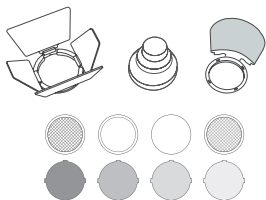
梱包物



オプション

当社の以下の撮影付属品を別途購入して、最適な撮影効果と使用体験を得ることができます。



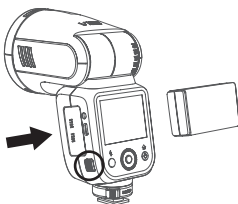


AK-R1 円形口金付属品キット

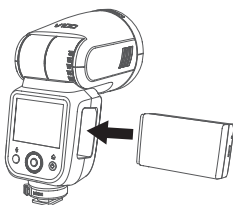
注：ご購入したフラッシュライトのモデルに基づいて対応する付属品モデルを購入し、誤って購入しないください。

電池の着脱

電池の取り外し:電池のリリースボタンを押したままで電池を取り出します。



電池の取付け:電池ケース内の指示方向に沿って電池を挿入し、所定の位置まで嵌め込んでください。



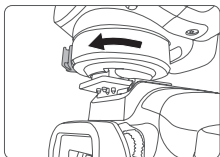
電池残量表示

リチウム電池をフラッシュライトに正しく装着すると、フラッシュライトに電力を供給することができます。使用するときは、フラッシュライト画面の電池アイコンを見て、いつでも電池残量を把握することができます。

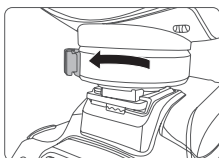
電池残量表示	説明
3 本	高い
2 本	中程度
1 本	低い
ない	電池残量不足、直ちに充電してください
全画面で電池残量不足記号を表示	電池残量がすぐになくなります、フラッシュライトは使用できません。 注：この場合は直ちに (10 日以内) 充電してください。そうでなければ、使用又は保管することができません。

フラッシュライトの着脱

取付け: ホットシューを固定するボタンを押しながら左に回すとカメラのホットシューが挿入され、その後にフラッシュライトのロックリングを右に回すとホットシューがロックされます。



取外し: ホットシューを固定するボタンを押しながら左に回すと、ホットシューを緩め、フラッシュライトを取り外して完了します。

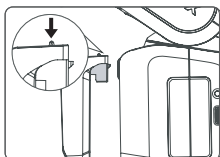
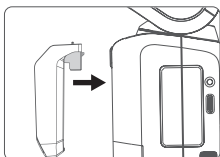


▲ フラッシュライト着脱時の機器損傷を避けるために、必ずカメラとフラッシュライトの電源を切ってください。

分割式サブフラッシュライト SU-1 の着脱

取付け: 分割式サブフラッシュライト SU-1 をセットトップフラッシュライト V100 外付けフラッシュライトポートに向けて平行に押し込み、「カチッ」という音がすると取付けが完了します。

取外し: 分割式サブフラッシュライトの取外しブッシュを押しながら、上に取り出すと完了します。

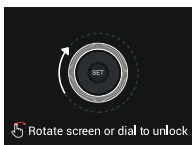


▲ フラッシュライト V100 の電源を切ってから、SU-1 サブフラッシュライトの着脱を行ってください。
メインライトの電源がオンまたは動作している状態では、SU-1 サブフラッシュライトを無理に挿入したり抜き取ったりしないでください。SU-1 の破損原因になります。

電源管理

オン：画面に＜SET＞アイコンが表示されるまで電源ボタンを長押しし、矢印方向に沿って画面をタップして起動するか、時計回りに調整ダイヤルを回して起動することができます。

注：オンにしてから 15 秒以内に操作しないと、バックライトが自動的に消灯し、スクリーンをタッチすれば再点灯します。



スリープ:

ヘッドカメラモード / マスターモードでオンにして待機状態になった後、長時間で操作しない場合（約 90 秒）は、フラッシュライトは自動的にスリープします。シャッターを半押ししたり、本体の任意のキーをタップしてウェークアップすることができます。

自動オフ:

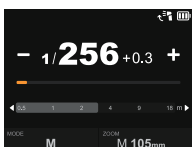
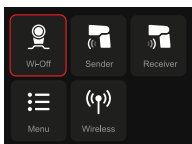
ヘッドカメラ / マスターモード: スタンバイオフ、自動シャットダウン機能がオンになり、60 分以上（30 分または 90 分に調整可）で操作しない場合、フラッシュライトは自動的にオフになります。

スリープモード: 自動オフ機能がオンになり、60 分以上（30 分または 90 分に調整可）で操作しない場合、フラッシュライトは自動的にオフになります。オフラインで使用する場合は、自動シャットダウン機能を手動でオフにすることができます。

ヘッドカメラモード

タップして使用: スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。画面上の「ヘッドカメラ」アイコンをタップしてヘッドカメラモードの主画面に入ります。

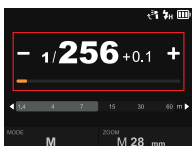
ダイヤルとボタンの使用: 電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回して「ヘッドカメラ」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてヘッドカメラモードの主画面に入ります。



M: 手動フラッシュモード

1/256 ~ 1/1 または 2.0 ~ 10 で 0.1 又は 0.3 単位でフラッシュ出力を設定できます。正しいフラッシュ露出を得るためには、手持ち式フラッシュ光測定器を使用して必要なフラッシュ出力を確認してください。

タップして使用: モードアイコンをタップして M モードを切り替えることができ、画面の - アイコンまたは + アイコンをクリックして、± 0.1 段階または ± 0.3 段階で正確に調整する、又は黄色のプログレスバーをドラッグして迅速に調整することができます。



ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回して「モード」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてモード設定に入り、調整ダイヤルを回して M モードを選択し、選択後に設定ボタンを短押しして終了します。調整ダイヤルを回してパワー範囲を選択し、設定ボタンを短押ししてパワー範囲の調整を行い、調整ダイヤルを回して ± 0.1 段階又は ± 0.3 段階で正確に調整し、調整ダイヤルを迅速に回してすばやく調整することができます。

S1 光制御ユニット設定: M 手動フラッシュモードで S1 機能を使用することができ、フラッシュライトをサブランプとして使用して複数種の照明効果を作ることができ、手動フラッシュ環境に適します。メインフラッシュライトの最初のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使用する場合と同じです。

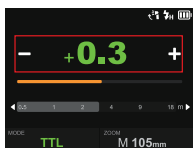
S2 光制御ユニット設定: M 手動フラッシュモードで S2 機能を使用することができ、フラッシュライトをサブランプとして使用し、TTL フラッシュ環境に適します。プリフラッシュ防止機能があり、1 回のプリフラッシュ機能を備えるカメラを使用すると、光制御で同期撮影を実現することができます。メインフラッシュライトの 2 回目のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーすることができ、すなわち、2 回光制御フラッシュです。

- ▲ 1.S1/S2 光制御フラッシュは、M モードでのみ実現できます。
2. メニュー設定画面で S1 光制御または S2 光制御を切り替えるか、この機能をオフにすることができます。
3. お使いのモデルは V 100 O である場合は、他の機能画面で光制御フラッシュを見つけ、オンまたはオフにすることができます。

TTL:TTL 自動フラッシュモード

TTL モードでは、カメラの測光システムが本体から反射してきたフラッシュ照明を検出し、それによりフラッシュ出力量を自動的に調整し、本体と背景を均等に露出させます。

タップして使用: モードアイコンをタップして TTL モードを切り替えることができ、画面の - アイコンまたは + アイコンをクリックして、± 3 段階の間で ± 1/3 でフラッシュ露出補正量を正確に調整する、又は黄色プログレスバーをドラッグしてフラッシュ露出補正量をすばやく調整することができます。



ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回して「モード」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてモード設定を行い、TTL : TTL 自動フラッシュモード、調整ダイヤルを回して TTL モードを選択し、選択後に設定ボタンを短押しして終了します。調整ダイヤルを回してフラッシュ露出補正量の範囲を選択し、設定ボタンを短押ししてフラッシュ露出補正量を調整し、調整ダイヤルを回して ± 3 段階の間で ± 1/3 で正確に調整するか、調整ダイヤルを回してすばやく調整することができます。

- カメラのシャッターボタンを半押しして焦点を合わせると、有効フラッシュ範囲が画面に表示されます。
- シャッターが開放される前の瞬間にプリフラッシュを行い、フラッシュライトはカメラ情報を受信してメインフラッシュを行います。

ズーム:フラッシュライトカバー範囲の設定

このフラッシュには、自動ズームと手動ズームの 2 種類のズーム方式があります。自動ズーム時には、カメラのズームレンズの変化に応じて焦点距離が変化し、最適なフラッシュ効果を提供します。

自動ズーム:

A-mm、この状態で、フラッシュライトは自動的にフラッシュのカバー範囲を設定します。

手動ズーム:

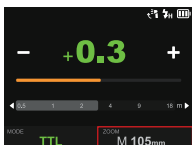
28mm-105mm(V100 C/V100 S/V100 N)

28mm-105mm 又は 14-52mm(V100 O)

28mm-105mm 又は 18-69mm(V100 F)

タップして使用:「ズーム」アイコンをタップしてズーム設定画面に入り、画面をタップして自動ズーム A-mm または手動ズームを選択できます。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回して「ズーム」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてズーム設定に入り、調整ダイヤルを回して自動ズーム又は必要な焦点距離を選択し、選択後に設定ボタンを短押しして終了します。



▲ レンズの焦点距離をカバーするようにフラッシュカバー範囲を手動で設定する場合、写真に影のエッジが表示しないようになります。

サブライト:分割式サブフラッシュライト SU-1

分割式サブフラッシュライト SU-1 を使用すると、M 手動フラッシュ出力 / TTL 自動フラッシュ出力時に物体により良い補光効果を与えることができ、この機能は人像撮影によく使用されています。

使用手順:分割式サブフラッシュライト SU-1 をヘッドカメラのフラッシュライト V100 の外付けフラッシュライトポートに向けて平行に押し込み、「カチッ」と音がすると取付けが完了します。

分割式サブフラッシュライト SU-1 のフラッシュパワー範囲:1/128 - 1/1 または 3.0 ~ 10、計 8 段階であり、各段階は + 1/3 単位でします。

タップして使用:「サブライト」アイコンをタップしてサブライト設定画面に入り、「-」または「+」アイコンをタップしてパワーを調整する、又はプログレスバーをドラッグしてパワーを素早く調整することもできます。画面下部のオン・オフボタンをタップしてサブライトをオンまたはオフにすることもできます。

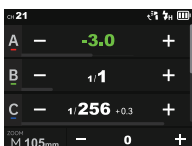
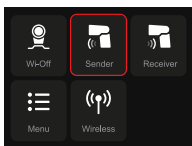
ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回して「サブライト」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてズーム設定に入り、調整ダイヤルを回してフラッシュパワー / オフ (OFF) を選択し、選択後に設定ボタンを短押しして終了します。

- ▲ 1. 着脱する前に、必ずフラッシュライトの電源を切ってください。
2. マスター又はスレープモードの場合は外付けフラッシュライト SU-1 を使用しないでください。
3. 外付けフラッシュライトを使用するには、フラッシュライトの口金を持ち上げる必要があります。
4. 外付けフラッシュライトは高速フラッシュに対応できません。

マスターモード

タップして使用:スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。画面上の「マスター」アイコンをタップしてマスターモードの主画面に入り、下向きにスライドしてより多くのグループを表示することができます。

ダイヤルとボタンの使用:電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回して「マスター」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてマスターモードの主画面に入り、調整ダイヤルを回してより多くのグループを表示することができます。



マスターモードの場合、ワイヤレスはデフォルトでオンになります。

グループ:

5つのグループ: グループ A、グループ B、グループ C、グループ D、グループ E(V100 C)。

グループ M、グループ A、グループ B、グループ C、グループ D(V100 S、V100 N、V100 O、V100 F)。

M 手動フラッシュフラッシュ効率

タップして使用: グループボックスを長押しして M 手動フラッシュ /TTL 自動フラッシュ /OFF を切り替え、このグループボックスの値が 1/256-1/1 または 2.0 ~ 10 であれば、現在のグループは M 段階の手動フラッシュモードであり、この値はフラッシュパワー値です。- アイコンまたは + アイコンをタップしてフラッシュパワーを調整する、又はグループボックス下部のプログレスバーをドラッグしてフラッシュパワーをすばやく調整できます。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回してグループを選択し、設定ボタンを短押しして設定を行い、設定ボタンを長押しして M 手動フラッシュまたは TTL 自動フラッシュ /OFF を切り替え、このグループボックスの値は 1/256-1/1 または 2.0-10 の間であれば、現在のグループは M 段階の手動フラッシュモードであり、この値はフラッシュパワー値です。調整ダイヤルを回してパワーを選択することができ、調整後に設定ボタンを短押しして終了します。

TTL 自動フラッシュフラッシュ露出補正量

タップして使用: グループボックスを長押しして M 手動フラッシュ /TTL 自動フラッシュ /OFF を切り替え、このグループボックスの値が -3.0 ~+3.0 であれば、現在のグループは TTL 自動フラッシュモードであり、この値はフラッシュ露出補正量です。- アイコンまたは + アイコンをタップしてフラッシュパワーを調整する、又はグループボックス下部のプログレスバーをドラッグしてフラッシュパワーをすばやく調整できます。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回してグループボックスを選択し、設定ボタンを短押しして設定を行い、設定ボタンを長押しして M 手動フラッシュまたは TTL 自動フラッシュ /OFF を切り替え、このグループボックスの値は -3.0~+3.0 であれば、現在のグループは TTL 自動フラッシュモードであり、この値はフラッシュ露出補正量です。調整ダイヤルを回してパワーを選択することができ、調整後に設定ボタンを短押しして終了します。

グループ全体のパラメータ統一調整

タップして使用:- アイコン又は + アイコンをタップしてフラッシュパワー又はフラッシュ露出補正量を統一に調整することができます。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回してグループボックスを選択し、設定ボタンを短押しして統一調整設定を行い、調整ダイヤルを回してフラッシュパワーまたはフラッシュ露出補正量を統一的に調整します。設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

ズーム: フラッシュライトカバー範囲の設定

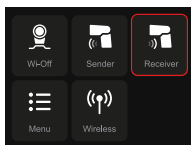
28mm ~ 105 mm のオートズームと手動ズームを選択できます (ズームの詳細については、ヘッドカメラモードでのズーム設定を参照してください)。

スレープモード

タップして使用:スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。画面上の「スレープ」アイコンをタップしてスレープモードの主画面に入ります。

ダイヤルとボタンの使用:電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回して「スレープ」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてスレープモードの主画面に入ります。スレープモードの場合、ワイヤレスはデフォルトでオンになります。

スレープモードの場合、ワイヤレスはデフォルトでオンになります。



グループ

現在のスレープモードグループはA、B、C、D、Eから選択できます。

タップして使用:画面のグループアイコンをタップしてグループ設定画面に入り、必要なグループをタップして切り替えることができます。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回してグループアイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてグループ設定に入り、調整ダイヤルを回してグループを切り替え、設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

TTL:TTL 自動フラッシュモード

タップして使用:モードアイコンをタップして TTL モードに切り替えることができます。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回して「モード」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてモード設定に入り、調整ダイヤルを回して TTL モードを選択し、選択後に設定ボタンを短押しして終了します。

6 TTL 自動フラッシュに関する他の内容は、ヘッドカメラモードの主画面→ TTL 自動フラッシュモード項を参照してください。

M: 手動フラッシュモード

タップして使用:モードアイコンをタップして M モードに切り替えることができます。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回して「モード」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてモード設定に入り、調整ダイヤルを回して M モードを選択し、選択後に設定ボタンを短押しして終了します。

6 M 手動フラッシュに関する他の内容は、ヘッドカメラモードの主画面→ M 手動フラッシュモード項を参照してください。

フラッシュパワー設定

M 手動フラッシュモードを選択した場合、グループボックスパラメータは設定でき、調整範囲: 1/256-1/1 又は 2.0~10

タップして使用:- アイコンまたは + アイコンをタップしてフラッシュパワーを調整する、又はグループボックス下部のプログレスバーをドラッグしてフラッシュパワーをすばやく調整できます。

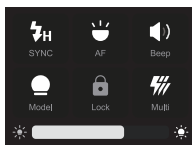
ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回してパワーボックスを選択し、設定ボタンを短押ししてパワー設定に入り、調整ダイヤルを回してパワーを選択し、設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

ズーム:フラッシュライトカバー範囲の設定

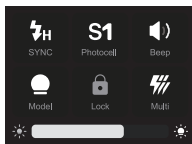
28mm ~ 105 mm のオートズームと手動ズームを選択できます（ズームの詳細については、ヘッドカメラモードでのズーム設定を参照してください）。

その他の機能

ヘッドカメラ / マスター / スレーブモード画面の場合、画面上部から下向きにスライドすると、他の機能が現れます。設定後に下から上向きにスライドして前の画面に戻ります。ヘッドカメラ / マスター / スレーブモード画面の場合、電源ボタンを2回短押しすると、他の機能が現れます。設定後に電源ボタンを短押しして前の画面に戻ります。



(V100 C/S/N/F 画面)



(V100 O 画面)

同期方式

⚡H 高速同期

高速同期（FP フラッシュ）を使用すると、任意のシャッタースピードでフラッシュライトを同期使用することができます。高速同期フラッシュは、絞子を使用して優先的に人物像を充填する際に特に便利です。

⏮▶ 後幕同期

スローシャッターと後幕同期を使用すると、被写体の後ろに光の軌跡を作成し、シャッターを閉じる前の瞬間にフラッシュすることができます。

タップして使用: 画面の「同期」アイコンをタップして同期方式 (V100 C) を切り替えることができます。V100 S または V100 O または V100 S F または V100 S N モデルであるが、二コンカメラに接続されていない場合、画面上の「同期」をタッチすると高速同期のみオンまたはオフになり、後幕同期はカメラに設定する必要があります。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回して「同期」アイコンを選択し、設定ボタンを短押しして同期方式 (V100 C) を切り替えます。V100 S または V100 O または V100 S F または V100 S N モデルであるが、二コンカメラに接続されていない場合、設定ボタンを短押しして高速同期のみオンまたはオフになり、後幕同期はカメラに設定する必要があります。

注意事項: V100 N フラッシュライトを使用して二コンカメラに接続し、二コンカメラシャッターを高速シャッターに設定すると、フラッシュライトは自動的に高速同期をオンにし、シャッターが低速に設定すると、フラッシュライトは自動的に高速同期をオフにします。

☂ 自動補助フォーカス (V100 O はこの機能なし)

低輝度又は低コントラストの撮影の場合、フラッシュ内蔵のオートフォーカス補助ライトが点灯し、オートフォーカスがより容易になります。フォーカスが困難な場合、赤い補助フォーカスライトが点灯し、フォーカスが正確であれば、補助フォーカスライトが自動的に消灯します。

タップして使用: 画面上の「フォーカスライト」アイコンをタップしてオン又はオフにすることができます。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回して「フォーカスライト」を選択し、設定ボタンを短押ししてオン又はオフにすることができます。

位置	有効範囲
中央	0.6 ~ 10 メートル / 2.0 ~ 32.8 フィート
エッジ	0.6 ~ 5 メートル / 2.0 ~ 16.4 フィート

📢 使用するとき、補助フォーカスライトが点灯しない場合は、カメラが正確にフォーカスされていることを示します。

光制御フラッシュトリガー (V100 O)

タップして使用「光制御」アイコンをタップして OFF/S1/S2 に切り替えます。
ダイヤルとボタンの使用調整ダイヤルを回して「光制御」アイコンを選択し、設定ボタンを短押しして OFF/S1/S2 を切り替えます。

▲ V100 O モデルを使用する場合は、この画面で光制御フラッシュトリガーをオンまたはオフにすることができ、他のモデルはメニューでオンまたはオフにする必要があります。光制御フラッシュトリガーの他の内容については、取扱説明書のヘッドカメラモードの M 段階手動モード項をご参照ください。

🔊 ブザー設定

ブザーをオンにすると、フラッシュの際に音がします。

タップして使用：画面上の「ブザー」アイコンをタップしてオン又はオフにすることができます。

ダイヤルとボタンの使用：調整ダイヤルを回して「ブザー」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてオン又はオフにすることができます。

🔦 造形ライト設定

タップして使用：画面上の「造形ライト」アイコンをタップしてオン又はオフにすることができます。造形ライトをオンにした場合、下部のプログレスバーをスライドさせて 1 ～ 10 段階で調整を行うことができる。

ダイヤルとボタンの使用：調整ダイヤルを回して「造形ライト」を選択し、設定ボタンを短押ししてオン又はオフにすることができます。造形ライトをオンにした場合、調整ダイヤルを回して下部のプログレスバーを選択し、設定ボタンを短押しして輝度調整を行い、調整ダイヤルを回して 1-10 段階の調整を行うことができ、設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

🔒 画面ロック

タップして使用：画面上の「ロック」アイコンをタップして画面ロック機能をオンにすることができ、画面を 2s 長押ししてロック解除できます。

ダイヤルとボタンの使用：調整ダイヤルを回して「ロック」アイコンを選択し、設定ボタンを短押しして画面ロック機能をオンにすることができ、設定ボタンを 2s 長押ししてロック解除できます。

⚡ ストロボフラッシュ

スローシャッターでストロボフラッシュを使用するとき、1 枚の写真に複数の連続した動作を撮影することができます。

フラッシュ周波数 (Hz で示す 1 秒間のフラッシュ回数)、フラッシュ回数とフラッシュ出力を設定できます。

フラッシュパワー範囲：1/256-1/4 又は 2.0~8.0

フラッシュ回数：1-100

フラッシュ周波数：1-100

ズーム調整範囲：自動ズーム又は手動ズーム

タップして使用：画面上の「ストロボフラッシュ」アイコンをタップしてオン又はオフにすることができます。オンにしてから画面の下から上向きにスライドし、ストロボフラッシュ設定画面が現れます。フラッシュ回数数値をスライドして回数を選択し、ヘルツをスライドしてフラッシュ周波数を選択し、- アイコンまたは + アイコンをタップしてフラッシュパワーを調整します。ズーム設定：画面上のズームアイコンをタップして設定画面に入り、タップして自動ズームまたは必要な焦点距離を選択し、設定完了後にアイコンをタップしてストロボ画面に戻します。

ダイヤルとボタンの使用：調整ダイヤルを回して「ストロボフラッシュ」を選択し、設定ボタンを短押ししてオン又はオフにすることができます。オンにしてから電源ボタンを短押しすると、ストロボフラッシュ設定画面が現れます。調整ダイヤルを回してフラッシュパワー / フラッシュ回数 / フラッシュ周波数 / ズームを選択し、選択後に設定ボタンを短押ししてフラッシュパワー / フラッシュ回数 / フラッシュ周波数 / ズーム設定に入り、調整ダイヤ

ルを回しフラッシュパワー / フラッシュ回数 / フラッシュ周波数 / ズームを設定し、設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

ストロボフラッシュを使用する際のシャッタースピード決定方法

ストロボフラッシュが停止するまで、シャッターは開いた状態にしておく必要があります。次の式を使用してシャッタースピードを計算し、カメラで設定します。

フラッシュ回数÷フラッシュ周波数=シャッタースピード

例えば、フラッシュ回数を 10（回）、フラッシュ周波数を 5（Hz）に設定した場合、シャッター速度を 2 秒以上に設定する必要があります。

⚠ フラッシュライトの口金の過熱による損傷を防ぐため、連続して 10 回以上フラッシュを行わないでください。10 回フラッシュした後、少なくとも 15 分間冷却してください。連続して 10 回以上ストロボフラッシュして連続撮影を行った場合、フラッシュライトの口金が過熱しないように、フラッシュが自動的に停止する可能性があります。このような状況が発生した場合は、フラッシュライトを少なくとも 15 分冷却してください。

- ❗

1. 反射が強い被写体は、暗い背景の前にストロボフラッシュを使用するとより効果的です。

2. 三脚と TTL フラッシュトリガー XPRO II の使用をお勧めします。

3. 1/1 と 1/2 フラッシュ出力は設定できません。

4. カメラ撮影モードが B バルブモード撮影（buLb）に設定されていても、ストロボフラッシュを行うことができます。

5. ストロボフラッシュモードは高速同期を設定できません。

6. ストロボを使用しない場合は、ストロボをオフにしてください。そうしないと、TTL フラッシュや M 手動フラッシュは設定できません。

最大連続フラッシュ回数

フラッシュ周波数 (Hz) \ フラッシュパワー	1	2	3	4	5	6-7	8-9
1/4	8	6	4	3	3	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5
1/16	30	30	30	20	20	20	10
1/32	60	60	60	50	50	40	30
1/64	90	90	90	80	80	70	60
1/128	100	100	100	100	100	90	80
1/256	100	100	100	100	100	90	80

フラッシュ周波数 (Hz) \ フラッシュパワー	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4	2	2	2	2	2	2
1/8	4	4	4	4	4	4
1/16	10	8	8	8	8	8
1/32	20	20	20	18	16	12
1/64	50	40	40	35	30	20
1/128	70	70	60	50	40	40
1/256	70	70	60	50	40	40

ワイヤレス設定

タップして使用:スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。画面上の「ワイヤレス設定」アイコンをタップしてワイヤレス設定画面に入ります。設定完了後、画面の左から右へスライドしてモード画面に戻ります。

Channel	ID
28	28
29	29
30	30
SCAN	SYNC

ダイヤルとボタンの使用:電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回して「ワイヤレス設定」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてワイヤレス設定画面に入ります。設定完了後、電源ボタンを短押ししてモード画面に戻ります。

アイドルチャネルのスキャン

他人が自分と同じチャネルを使って撮影干渉を受けることを防止するため、アイドルチャネルのスキャン機能を使うことができます。

タップして使用:画面上の「チャネルスキャン」アイコンをタップしてスキャンを開始し、しばらくすると画面に 8 グループの空きチャネルが現れ、必要なチャネルをタッチすると設定が完了します。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回して「チャネルスキャン」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてスキャンを開始し、しばらくすると画面に 8 グループの空きチャネルが現れ、調整ダイヤルを回して必要なチャネルを選択し、設定ボタンを短押ししてチャネルを自動的に設定できます。

チャネル設定

撮影現場で複数のワイヤレスフラッシュシステムを使用している場合は、ワイヤレスチャネルを変更することで信号干渉を防ぐことができますが、マスターユニットとスレーブユニットが同じチャネルに設定されていることを保証する必要があります。調整範囲：01-32。

タップして使用:チャネルボックスをスライドして必要なチャネルを選択します。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回してチャネル範囲を選択し、設定ボタンを短押ししてチャネル設定に入り、調整ダイヤルを回してチャネルを選択し、設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

識別番号設定

信号干渉を回避するために、ワイヤレス通信チャネルを変更することに加えて、ワイヤレス ID を変更することによって干渉を防止することができます。この場合は、マスターユニットとスレーブユニットは同じチャネルとワイヤレス ID に設定する必要があります。調整範囲：OFF/01-99

タップして使用:チャネルボックスをスライドして必要な識別番号を選択又は識別番号をオフにします。

ダイヤルとボタンの使用:調整ダイヤルを回して識別番号範囲を選択し、設定ボタンを短押しして識別番号設定に入り、調整ダイヤルを回して識別番号を選択し、設定完了後に設定ボタンを短押しして終了します。

ワイヤレス同期

ワイヤレスで送信機と受信機を同期支援し、同じチャンネルと識別番号をすばやく設定します。

ワイヤレス同期受信機:

- 前提条件：1. 機器 V100 をマスターモードに設定し、主画面のマスターアイコンが黄色になります
2. 受信機はレトロフラッシュライト LUX MASTER と仮定します。

タップして使用: V100 上のワイヤレス同期をタッチし、レトロフラッシュライト LUX MASTER 上のワイヤレス同期をタッチすればワイヤレス同期が可能です。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回して V100 上のワイヤレス同期を選択し、設定ボタンを短押ししてワイヤレス同期を行い、調整ダイヤルを回してレトロフラッシュライト LUX MASTER 上のワイヤレス同期を選択し、SET ボタンを短押しするとワイヤレス同期が可能です。

ワイヤレス同期送信機:

- 前提条件: 1. 機器 V100 をスレープモードに設定し、主画面のスレープアイコンが黄色になります
2. 送信機はフラッシュトリガー X3 であると仮定します。

タップして使用: V100 上のワイヤレス同期をタッチし、フラッシュトリガー X3 上のワイヤレス同期をタッチすればワイヤレス同期が可能です。

ダイヤルとボタンの使用: 調整ダイヤルを回して V100 上のワイヤレス同期を選択し、設定ボタンを短押ししてワイヤレス同期を行い、調整ダイヤルを回してフラッシュトリガー X3 上のワイヤレス同期を選択し、調整ノブを短押しするとワイヤレス同期が可能です。

V100 ワイヤレス同期: マスターユニットとスレープユニットのいずれも V100 の場合もワイヤレス同期が実現できます。

メニュー設定

タップして使用: スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。画面上の「メニュー」アイコンをタップしてメニュー画面に入ります。設定完了後、画面の左から右へスライドしてモード画面に戻ります。

ダイヤルとボタンの使用: 電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回して「メニュー」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてメニュー画面に入ります。設定完了後、電源ボタンを短押ししてモード画面に戻ります。

モデルによってメニュー順序が異なります、メニューの順序は実物を見てください、以下ではメニュー機能のみを説明します。

アイコン	機能	項目	備考
	マスターフラッシュ (V100 C のみがこの機能を備える)	オフ	マスターユニット フラッシュライト フラッシュオフ
		オン	マスターユニットフラッシュライト フラッシュオン
	パワー表示	1/256	0.1 最小パワー段階は 1/256 を表示し、0.1 又は 0.3 単位で調整できます。
			0.3
		2.0	0.1 最小パワー段階は 2.0 を表示し、0.1 又は 0.3 単位で調整できます。
			0.3
	光制御フラッシュ (V100 O は他の機能画面で設定できる)	S1	M 手動フラッシュモードでの使用に対応でき、メインフラッシュライトの最初のフラッシュと同期してフラッシュをトリガします
		S2	メインフラッシュライトでの使用に対応でき、メインフラッシュライトの 2 回目のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーすることが出来ます
	TCM	オン	TTL モードのフラッシュ値を M モードのパワー値に変更できる
		オフ	この機能は無効です
	距離単位	m	メートル
		ft	フィート

アイコン	機能	項目	備考
	待機	オン	オンにすると、所定の時間（約 90 秒）を超えて何らかの操作をしないと、フラッシュライトが自動的にスリープ状態になります。
		オフ	オフにすると、所定の時間（約 90 秒）を超えて何らかの操作をしていなくても、フラッシュライトが自動的にスリープ状態になりません。
	自動オフ	オフ	自動オフ機能をオフにします
		30 分	1. 待機オフ、ヘッドカメラまたはマスターモードの場合に 30 分以上操作しないと自動的にオフになります。 2. スleepモードの場合に 30 分以上操作しないと自動的にオフになります。
		60 分	1. 待機オフ、ヘッドカメラまたはマスターモードの場合に 60 分以上操作しないと自動的にオフになります。 2. スleepモードの場合に 60 分以上操作しないと自動的にオフになります。
		90 分	1. 待機オフ、ヘッドカメラまたはマスターモードの場合に 90 分以上操作しないと自動的にオフになります。 2. スleepモードの場合に 90 分以上操作しないと自動的にオフになります。
	造形ライト	持続	造形ライトは、フラッシュライトのフラッシュ期間中に点灯し続けます
		フラッシュ ライト消灯	造形ライトは、フラッシュライトのフラッシュ期間中に自動的に消灯します
	画面設定	なし	画面輝度の無断調整
		30 秒	30 秒以上画面操作をしないと待機状態になる
		1 分	1 分以上画面操作をしないと待機状態になる
		2 分	2 分以上画面操作をしないと待機状態になる
		3 分	3 分以上画面操作をしないと待機状態になる
	ズーム	4/3	4/3 システム (V100 のみ)
		APS	APS システム (V100 のみ)
		135	135 システム (V100 /V100 /V100 のデフォルトシステム)
	新しいプロトコル (V100 S のみがこの機能を備える)	オン	このプロトコルはデフォルトでオンにしている
		オフ	カメラとフラッシュライトが衝突する場合はオフにします。
	言語 /Language	中国語	機器言語は中国語です
		English	機器言語は英語です
	工場出荷時設定に復元	いいえ	工場出荷時設定に復元する操作をキャンセルします
		はい	工場出荷時設定に復元
	機器情報	なし	この画面では機器の型番及びそのファームウェアのバージョン番号を表示します

ワイヤレスフラッシュ撮影 (2.4G ワイヤレス伝送)

この章では、送信機と受信機を使用したワイヤレス伝送のワイヤレスフラッシュ撮影について説明します

本章では、カメラに取り付けた V100 をマスターユニット、ワイヤレス制御を受ける V100 をスレーブユニットと呼びます。

また、TTL フラッシュトリガー XPROII ワイヤレス制御をスレーブユニットとした V100 を別途購入することもできます。フラッシュトリガーの詳細については、別途購入したフラッシュトリガーの説明書を参照してください。

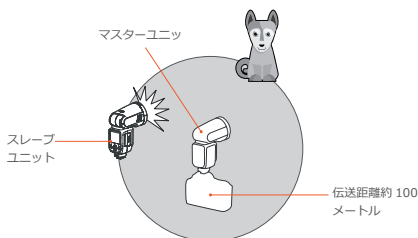
▲ カメラの撮影モードは全自動モード又はプログラム映像制御エリアモードに設定されている場合、この章の操作は利用できません。カメラの撮影モードを Fv/P/Tv/Av/M/B バルブ(クリエイティブ撮影エリアモード)に設定する必要があります。

ワイヤレス伝送ワイヤレスフラッシュ撮影を備えたフラッシュライトを用い、ワイヤレス多重フラッシュを用いた撮影は通常の TTL 自動フラッシュ撮影と同様に簡単です。

V100 (マスターユニット) の設定は、マスターユニットとスレーブユニットのチャンネル、グループ、ID が一致する関連ワイヤレス設定に設定されている限り、ワイヤレス制御の V100 (スレーブユニット) に自動的に適用されます。従って、撮影するときに受信ユニットの操作は不要です。

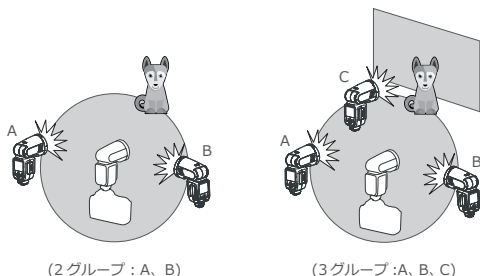
位置付けと操作範囲

● 1つのスレーブユニットを使用して自動フラッシュを行う



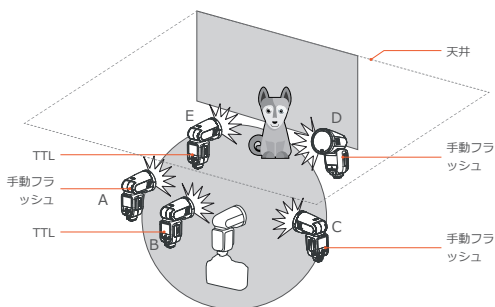
● 複数のスレーブユニットを使用した自動フラッシュ

2つのスレーブユニットまたは3つのスレーブユニットを使用して TTL 自動フラッシュ撮影を行うことができ、フラッシュ比を変更することができます。



▲ 1. 撮影前にフラッシュ試験と撮影試験を行ってください。
2. スレーブユニットの位置、周辺環境、天気などの影響を受けて、伝送距離が短くなる場合があります。

- 各グループのために設定された異なるフラッシュモードで撮影する



ワイヤレスマスター / スレーブ設定

マスターユニットに設定

タップして使用: スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。マスターアイコンをタップしてマスターユニットに設定し、設定完了後に左から右にスライドして前の画面に戻ります。

ダイヤルとボタンの使用: 電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回してマスターアイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてマスターユニットに設定し、設定完了後に電源ボタンを短押しして前の画面に戻ります。

スレーブユニットに設定

タップして使用: スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。スレーブアイコンをタップしてスレーブユニットに設定し、設定完了後に左から右にスライドして前の画面に戻ります。

ダイヤルとボタンの使用: 電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回してスレーブアイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてスレーブユニットに設定し、設定完了後に電源ボタンを短押しして前の画面に戻ります。

マスターユニットについて

2 つ以上のマスターユニットを使用し、マスターユニットを搭載した複数のカメラを準備することで、同じ照明（スレーブユニット）を維持しながらカメラを交換して撮影することができます。

マスターユニット (フラッシュライト) フラッシュオン / オフ (V100 C のみこの機能を備える)

マスターフラッシュライトがフラッシュするかどうかを設定することができ、マスターフラッシュライトがオンに設定されている場合、マスターフラッシュライトはフラッシュグループ A としてフラッシュします。

タップして使用: スクリーンの左から右にスライドすると、スクリーンにモード画面が表示されます。画面上の「メニュー」アイコンをタップしてメニュー画面に入ります。画面上でスライドしてマスターフラッシュアイコンを見つけ、マスターフラッシュアイコン→オン又はオフをタッチします。

ダイヤルとボタンの使用: 電源ボタンを短押しすると、スクリーンにモード画面が表示されます。調整ダイヤルを回して「メニュー」アイコンを選択し、設定ボタンを短押ししてメニュー画面に入ります。調整ダイヤルを回してマスターフラッシュを選択し、設定ボタンを短押ししてマスターフラッシュ設定に入り、調整ダイヤルを回してオフまたはオンにし、設定ボタンを短押しして完了します。設定完了後、電源ボタンを短押しして前の画面に戻ります。

i マスターユニットのフラッシュライトのフラッシュをオフにしても、ワイヤレスフラッシュ信号の伝送には影響を与えません。

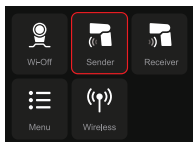
TTL: 全自動ワイヤレスフラッシュ撮影

以下の説明のタッチ方式であり、実際にはダイヤルやボタンを使用することもできます。

• 1つのスレーブユニットを使用した自動フラッシュ撮影

1. マスターユニットの設定

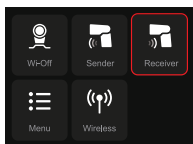
画面のマスターモードをタップしてカメラ上に装着している V100 をマスターユニットに設定します。



2. スレーブユニットの設定

画面上のスレーブモードをタップしてフラッシュライト V100 をスレーブユニットに設定します。

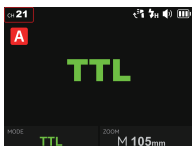
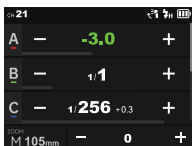
フラッシュトリガー X2T をマスターユニットとして使用できます。X2T は V100 のズーム値を制御することができますが、ズーム値は自動 (A) モードに調整する必要があります。



3. 伝送チャネル / 識別番号の確認

マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレスチャネルと識別番号は同じように設定する必要があります。例えば、マスターユニットのチャネルは 1、識別番号は 1 の場合、スレーブユニットも 1 と 1 です。

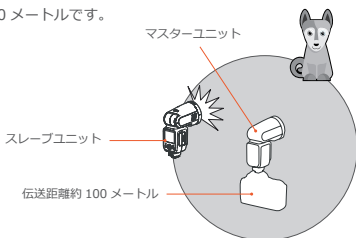
ワイヤレス同期機能を使用することもできます。この場合は手動で設定する必要がなく、チャネルと識別番号を高速に同期することができます。



上記は V100 マスター画面であり、他の型番の画面とわずかわう場合がある

4. カメラとフラッシュの位置付け

マスターユニットとスレーブユニットの伝送距離は最大約 100 メートルです。



5. フラッシュモードを <TTL> に設定

マスターユニットのフラッシュライト画面上のマスターアイコンをタップしてマスター設定に入り、グループボックスを長押しして TTL 自動フラッシュ補正值に切り替えます。

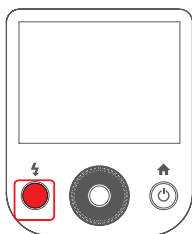
マスターユニットのフラッシュライトもフラッシュさせるために、メニューに入ってマスターフラッシュライトをオンに設定することができます (V100 C のみがマスターユニットのフラッシュをオンにすることができる)。



展示している画面は V100 マスター画面であり、他の型番の画面とわずかな違いがある

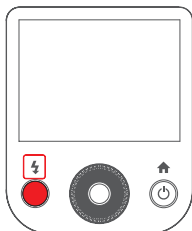
6. フラッシュライト準備状態の確認

マスターユニットのフラッシュライトの準備完了インジケータが点灯していることを確認します。



7. 操作検査

マスターフラッシュライトの <⚡> フラッシュ試験ボタンを押すと、スレーブユニットがフラッシュします。スレーブユニットがフラッシュしない場合は、操作範囲内に置いていることを確認してください。

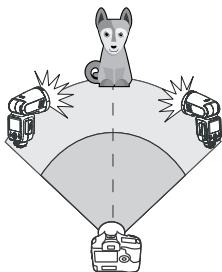


複数のスレーブユニットを使用した自動フラッシュ撮影

より大きなフラッシュ出力、又はより簡単な照明が必要な場合は、スレーブユニットの数量を増やし、その単一のフラッシュライトとしてフラッシュすることができます。

スレーブユニットを追加する場合、「1つのスレーブユニットを使用した自動フラッシュ撮影」と同じ手順で任意のフラッシュグループを設定できます (A/B/C/D/E)

スレーブユニットの数量を追加し、又はマスターフラッシュライトのフラッシュをオンに設定している場合、自動制御を行ってすべてのフラッシュライトが同じフラッシュ出力でフラッシュを行い、フラッシュの総出力が露出基準に達することを確保します。



- ▲ 1. カメラ上の被写界深度事前表示ボタンを短押しして造形フラッシュを行います (V100 C)
- 2. スレーブユニットの自動電源オフが有効になった場合は、マスターユニットのフラッシュ試験ボタンを押すとスレーブユニットをオンにすることができます。カメラの測光装置が動作している間は、フラッシュ試験を行うことができないので、ご注意ください。
- 3. メニューに入ってスレーブユニットの自動電源オフ時間を 30 分または 90 分に変更することができます。

M 手動フラッシュのワイヤレス (多重フラッシュ) 撮影

手動フラッシュを用いたワイヤレス (多重フラッシュ) 撮影では、マスターユニットにすべてのパラメータを設定し、各スレーブユニット (フラッシュグループ) に異なるフラッシュ出力を設定して撮影することができます。

1. 画面のマスターアイコンをタップしてカメラに装着している V100 をマスターユニットに設定する

マスターユニットのフラッシュライト画面上のマスターアイコンをタップしてマスター設定に入り、グループボックスを長押しして M 手動フラッシュのパワー値を表示させます。

2. 各フラッシュグループのフラッシュ出力の設定

- アイコン又は + アイコンをタップして各グループのフラッシュ出力を設定します。

3. チャンネルと識別番号の設定

マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレスチャンネルと識別番号は同じように設定する必要があります。例えば、マスターユニットのチャンネルは 1、識別番号は 1 の場合、スレーブユニットも 1 と 1 です。

ワイヤレス同期機能を使用することもできます。この場合は手動で設定する必要がなく、チャンネルと識別番号を高速に同期することができます

4. 写真撮影

各グループのスレーブユニットは設定されたフラッシュ出力でフラッシュします。

🔌 ストロボフラッシュのワイヤレス (多重フラッシュ) 撮影

1. マスターユニットをストロボフラッシュに設定

マスターユニットのフラッシュライト画面上のマスターアイコンをタップしてマスター設定に入ります。画面の上から下に引くと、画面にストロボアイコンが表示され、アイコンをタップしてオンにし、そして画面の下から上にスライドして画面にワイヤレスストロボフラッシュの関連パラメータを表示させます。

2. ワイヤレスストロボのフラッシュ出力、フラッシュ回数、フラッシュ周波数の設定

- アイコン又は + アイコンをタップしてフラッシュ出力を設定します。フラッシュ回数をスライドして必要なフラッシュ回数を選択し、フラッシュ周波数をスライドして必要なフラッシュ周波数を選択します。

3. スレーブユニットの設定

スレーブユニットのフラッシュライト画面上のスレーブアイコンをタップしてスレーブ設定に入ります。

4. チャンネルと識別番号の設定

例：マスターユニットのチャンネルは 1、識別番号は 1 の場合、スレーブユニットも 1 と 1 に設定します。

5. スレーブユニットグループのワイヤレスストロボオン / オフ設定

マスターユニットに直接スレーブユニット A/B/C/D のワイヤレスストロボのオン / オフを設定できます。

▲ マスターユニットとスレーブユニットのチャンネル、ID が一致していることを前提に、スレーブユニットはそのパラメータを調整する必要はなく、直接マスターユニットでパラメータを調整することができます。

その他の応用

同期ソケットトリガー

同期ソケットの仕様はΦ 2.5 mm、ここに同期ケーブル又はトリガープラグを挿入してフラッシュライトを同期にフラッシュさせることができます。

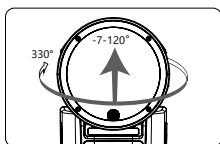
造形フラッシュ (V100C と V100N はこの機能を備える)

カメラに被写界深度プレビューボタンがあれば、ボタンを押すと 1 秒間連続フラッシュを行い、これは造形フラッシュと称されます。造形フラッシュを使用すると、ワイヤレス撮影でも通常のフラッシュ撮影でも、被写体上の光と影の効果と照明のバランスを確認することができます。

- 注 : 1. 10 回以上連続して造形フラッシュをトリガーしないでください。10 回連続して造形フラッシュを行った場合は、フラッシュライトの口金の過熱と破損を防止するため、フラッシュライトを少なくとも 10 分間冷却してください。
2. EOS300 と B タイプのカメラは造形フラッシュに対応できません。
3. V100 S/V100 F/V100 O フラッシュライトは造形フラッシュに対応できません。

反射フラッシュ

フラッシュライトの口金を壁や天井に向けると、被写体を照らす前にフラッシュが壁面に反射されます。これにより、被写体の背後にある影を軽減し、より自然な撮影効果を得ることができます。これは反射フラッシュと称されます。

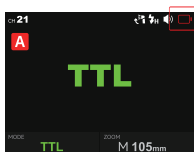


フラッシュライトの口金を回して反射方向を設定します。

- 注 : 1. 壁や天井までの距離が遠い場合、反射フラッシュが弱くなり、露出が不足する可能性があります。
2. 平坦で白色壁や天井は、高い反射効果を得るには有利です。反射面が白色でない場合、写真の色が変わる場合があります。

電池残量不足警告

電池残量が低い場合は、電池記号 <□> が赤色になりますので、電池を交換する、又は充電してください。



カメラメニューでフラッシュライトを制御する (V100 C のみこの機能を備える)

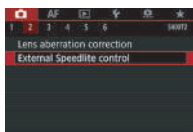
フラッシュライトを EOS カメラに取り付け、カメラメニューからフラッシュにカスタム機能を設定できます。

設定できる主な機能は以下の通りです。フラッシュモード、ワイヤレスフラッシュ機能の設定、その他の条件によって使用可能な設定が異なります

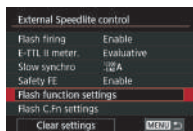
機能	
フラッシュライト フラッシュ	オン / オフ
E-TTL バランス	雰囲気優先 / 標準 / フラッシュ優先
TTL 測光	評価 (顔部優先) / 評価 / 平均
連写フラッシュライト制御	毎回撮影 E-TTL / 初回撮影 E-TTL
絞り最適化モードにおけるフラッシュ同期速度	
フラッシュモード	TTL フラッシュ測光 (自動フラッシュ) / 手動フラッシュ / 複数回フラッシュ (ストロボ)
ワイヤレスフラッシュ機能	ワイヤレスフラッシュ : オフ / ワイヤレス伝送
フラッシュライトズーム (フラッシュカバー範囲)	
シャッター同期	前幕同期 / 後幕同期 / 高速同期
フラッシュ露出補正	

フラッシュライト機能設定

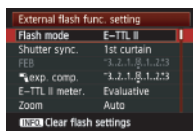
1. <フラッシュライト制御> 又は「外付けフラッシュライト制御」を選択します。



2. <フラッシュライト機能設定> 又は「外付けフラッシュライト機能設定」を選択します。



3. 設定画面と表示する項目は、カメラによって違います。



1. フラッシュライトのカスタム機能設定をクリアするには、手順 2 画面で「設定クリア」を選択し、すべてのフラッシュライトのカスタム機能をクリアするか、外付けフラッシュライトのカスタム機能設定をクリアします。
2. フラッシュライトを使用してフラッシュ露出補正を設定している場合は、カメラでフラッシュ露出補正を設定することはできません。カメラで設定する場合は、まずフラッシュライトのフラッシュ露出補正を「0」に設定してください。
3. カメラとフラッシュライトでフラッシュ露出補正以外のフラッシュライトのカスタム機能とフラッシュライトの機能設定を行う場合、最後に行った設定は有効になります。

グローバルシャッター同期撮影 (V100 S のみこの機能を備える)

フラッシュライト V100 S とグローバルシャッター画像センサのカメラを使用することにより、フラッシュはカメラ上で利用可能なシャッター速度範囲全体と同期することができ、従来の高速同期撮影 (HSS) よりも効果的なフラッシュ露出を実現することができます。

1. フラッシュライト V100 S が TTL 自動フラッシュモードを使用している場合、グローバルシャッターカメラを組み合わせると、低速シャッターでも高速シャッターでもフラッシュライトは正常に同期フラッシュすることができます。グローバルシャッターカメラに比べて、グローバルシャッターカメラを使用すると、フラッシュライトの高速同期フラッシュ時間はより短くて約 2-5 ミリ秒であり、フラッシュライトのリサイクルタイムはより短く、カメラはより多くの写真を撮影することができます。

2. フラッシュライト V100 S は M 手動フラッシュモードを使用していますが、高速シャッター (シャッター速度が 1/600 より速い) では単波フラッシュ (非高速同期) を使用しようとする場合は、カメラの露出時間に合わせてカメラのフラッシュ遅延時間を調整することで、より適切な光量で撮影することができます。このモードでは、高速同期モードに比べて、同じパワーでより良いフラッシュ指数が得られます。

カメラフラッシュ時間の設定場所: カメラの MENU  → (露出/色) → [フラッシュライト] → [フラッシュ時間設定] → [オン] → フラッシュ時間を必要な値に設定します。

カメラ ADJ フラッシュ時間の設定メニューは以下の通りです。

オン: フラッシュ時間を手動で調整します (0 マイクロ秒 ~ 1000 マイクロ秒)。

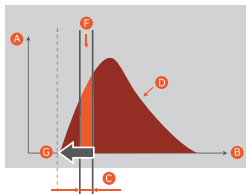
オフ: フラッシュ時間を調整しません (シャッター速度が 1/600 に達した場合、フラッシュ方式は非単波フラッシュ)。

フラッシュとシャッター位置合わせの調整方法:

高速シャッターの単波フラッシュのタイムアライメントは非常に厳しいです。その原理は図に示すようであり、フラッシュライトの光効率が最適であるときにシャッターを開く必要があります。

調整方法は以下の通りです。

フラッシュライトモードを M 段階に調整してカメラメニューに入り、カメラフラッシュ時間設定を見つけ、ADJ をオンにします。ADJ パラメータを入力し、ADJ パラメータはお使いのカメラやフラッシュライトに関連します。V100 S と A9 MIII を使用している場合、V100 S がワイヤレスをオンにしていない場合は約 160 マイクロ秒、ワイヤレスをオンにしている場合は約 560 マイクロ秒です (他のグローバルシャッターカメラを使用する場合は、各タイムで調整してアライメントタイムを確定する必要があります)。上記のパラメータを調整した後、カメラシャッターを 1/80000 に、フラッシュライトのパワーを 1/256 に調整します (シャッターが速いほど、パワーが小さいほどアライメント要求が高く、この組み合わせを調整してから他の組み合わせにも使用できます。速いシャッター速度と高いパワーに設定する場合、フラッシュ時間はシャッター時間よりはるかに大きいので、時間を遅くしてフラッシュの発光ピークを選択することができます)、同時にフラッシュしていないことが確認された場合、ADJ パラメータを微調整することができ、最適な露出に調整した後、他のシャッターでの撮影状況を試験することができます。



A: フラッシュライトの光量 D: 1/256 でフラッシュするときのフラッシュライトの光量
 B: 時間 F: 露出するフラッシュライトの光量
 C: シャッター速度 G: フラッシュ開始時間

- ▲ 1. カメラのシャッタースピードを 1/1000 より速く設定して写真を撮ると、輝度や色が異なる場合があります。
2. グローバルシャッター画像センサを搭載したカメラでは、高速同期設定が [ON] / [OFF] であっても、カメラに HSS アイコンは表示されません。
3. フラッシュライトが同期ケーブルを用いてカメラに接続して撮影を行うとき、カメラはグローバルシャッター同期撮影ではなく、従来の高速同期撮影方式を採用しているため、フラッシュライトの光が届く距離が短縮されます。

保護機能

熱保護

- フラッシュライトの口金の過熱による損傷を防ぐため、1/1 段階で連続 70 回以上のフラッシュを行わないでください。70 回フラッシュした後、少なくともフラッシュライトを 10 分間冷却してください。
- 70 回以上の連続フラッシュを行った直後により多くのフラッシュを継続すると、内部の過熱防止機能が有効になり、リサイクルタイムが 10 秒以上になる可能性があります。このような状況が発生した場合は、フラッシュライトを 10 分冷却させると回復できます。
- 熱保護機能が有効になったら、画面上にアイコンが表示されます。

熱保護機能が有効になる連続フラッシュ回数

フラッシュ回数 パワー段階	焦点距離	28mm	35mm	50mm	70mm	80mm	105mm
1/1		70	75	80	90	100	100
1/2		106	114	120	134	150	150
1/4		215	231	240	273	300	300
1/8		300	300	300	300	300	300
1/16		1200	1200	1200	1200	1200	1200
1/32		3500	3500	3500	3500	3500	3500
1/64							
1/128							
1/256							

高速同期モードにおける熱保護機能が有効になる連続フラッシュ回数：

パワー段階	連続フラッシュ回数
1/1	60
1/2 (+0.1~+0.9)	70
1/4(+0.1~+0.9)	100
1/8(+0.1~+0.9)	
1/16(+0.1~+0.9)	
1/32(+0.1~+0.9)	
1/64(+0.1~+0.9)	
1/128(+0.1~+0.9)	
1/256(+0.1~+0.9)	

その他の保護

設備の安全な動作を保証するために、システムは常に予防保護を行い、以下の注意記号を参考にしてください。

LCD 表示	警告内容
Error1	フラッシュライトの充電システムに問題が発生し、充電してフラッシュをトリガーすることができない場合は再起動してください。解決できない場合は修理してください。
Error3	フラッシュランプ両端の電圧が高すぎ、修理してください。
Error5	フラッシュ回路に異常が発生され、修理してください
Error9	ファームウェアアップデートエラー、正しく行ってください。

Godox2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因及び解決策

1. 外部環境 2.4G 信号干渉（無線基地局、2.4Gwifi ルーティング、Bluetooth デバイスなど）

→ フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し（+ 10 推奨）、干渉のないチャンネルを見つけ、又は他の 2.4G デバイスをオフにしてください。

2. フラッシュライトがすでに充電され、又はその充電速度が連写速度（フラッシュ準備完了、インジケータが点灯）に追従しており、過熱保護又はその他の異常状態にないことを確認してください。

→フラッシュライトの段階値を下げてください。TTL モードの場合は M モードに変更してみてください（TTL モードでは事前に 1 回フラッシュする必要があります）。

3. フラッシュトリガーとフラッシュライトとの距離が近すぎるか（距離 <0.5 m）

→フラッシュトリガー上で「近距離ワイヤレスモード」をオンにしてください。

X 1 シリーズ：フラッシュトリガーボタンを押し続け、インジケータが 2 回点滅するまで電源を入れます。

Xpro、X2T シリーズ：C.Fn-DIST を 0-30m に設定します。

X3 シリーズ：トリガー距離を 0-30m に設定します。

4. フラッシュトリガーおよび受信側のデバイスが低電力状態にあるかどうか

→電池を交換する、又は充電してください。

5. フラッシュトリガーのファームウェアは古いバージョンです。

→フラッシュトリガーのファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのアップデートについてはフラッシュトリガーの説明書をご参照ください。

6. カメラのファームウェアは古いバージョンです。

→カメラのファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのアップデートについてはカメラの説明書をご参照ください。

仕様

型番	V100 C	V100 S	V100 N
グローバルシャッター同期撮影	対応できません	対応できる	対応できません
ワイアレスグローバルシャッター同期	対応できません	対応できる	対応できません
造形フラッシュ	対応できる	対応できません	対応できる
フラッシュカバー範囲	自動ズーム (適切なレンズ焦点距離と画像寸法のフラッシュカバー範囲を自動的に設定する)		
	手動ズーム (28-105 mm)		

型番	V100 O	V100 F
グローバルシャッター同期撮影	対応できません	対応できません
ワイアレスグローバルシャッター同期	対応できません	対応できません
造形フラッシュ	対応できません	対応できません
フラッシュカバー範囲	自動ズーム (適切なレンズ焦点距離と画像寸法のフラッシュカバー範囲を自動的に設定する)	
	手動ズーム (28-105 mm又は 14-52 mm)	手動ズーム (28-105 mm又は 18-69 mm)

型番	V100 C/V100 S/V100 N/V100 O/V100 F
パワー (1/1 段階)	100Ws
口金回転範囲	フラッシュライトの口金回転 / 傾斜、水平 0 ~ 330°、垂直 - 7° ~ 120° (反射フラッシュ)
フラッシュ持続時間	1/300 秒 -1/20000 秒
露出制御	
露出制御システム	TTL 自動フラッシュ、手動フラッシュ
フラッシュ露出補正 (FEC)	± 3 階段で 1/3 単位で調整する
同期方式	高速同期 (最高 1/8000 秒、Sony グローバルシャッターカメラは最高 1/80000 秒)、前幕同期、後幕同期
ストロボフラッシュ	(最大フラッシュ回数 100 回、最大フラッシュ周波数 100 Hz)
ワイアレスフラッシュ (2.4G ワイヤレス伝送)	
ワイアレス機能	マスターユニット / スレーブユニット
マスターユニットグループ	A、B、C、D、E(V100 C) 又は M、A、B、C、D(V100 S/V100 N/V100 O/V100 F)
制御できるスレーブユニットグループ	A、B、C、D、E
伝送範囲 (約)	100 メートル
チャンネル	32 グループ : 01 ~ 32
ID	OFF/01 ~ 99
自動補助フォーカス (V100 O はこの機能なし)	
有効範囲 (約)	中央 : 0.6-10 メートル / エッジ : 0.6-5 メートル
LED 造形ライト	
パワー	2W
色温度	3300K ± 200K
電源	
リチウム電池	7.2V/2980mAh リチウム電池
充電時間	約 1.7 秒、フラッシュライト準備完了後、充電インジケータが点灯します
フルパワーフラッシュ回数	約 400 回
省エネ	待機 / 自動オフ機能を備える
同期トリガー方式	ホットシュー、2.5mm 同期ケーブル
寸法	
体積	71.5 × 76 × 206mm
本体重量 (電池を除く)	約 496g
本体重量 (電池を含む)	約 616g

仕様とパラメータは、予告なしに変更する場合があります。

トラブルシューティングガイド

問題が発生した場合は、このトラブルシューティングガイドをご参照ください。

フラッシュライトがフラッシュしない

- フラッシュライトはカメラにしっかりと装着されていません。
→フラッシュライトのホットシューをカメラにしっかりと装着してください。
- フラッシュライトとカメラの電子接点が汚れています。
→接点部をきれいに清掃してください。
- カメラのファインダーに<⚡>アイコン又は<⚡H>アイコンがないです。
→フラッシュライトが充電完了し、フラッシュ準備完了インジケータランプが点灯するまで待ってください。
→フラッシュライトの準備完了インジケータが点灯しても、カメラファインダーの<⚡>アイコン又は<⚡H>アイコンが点灯していない場合は、ホットシューの接続状態をチェックし、フラッシュライトがカメラのホットシューに確実に取り付けられていることを確保してください。
→長時間待ってもフラッシュライトの準備完了インジケータが点灯しない場合は、電池残量を確認してください。電池残量が不足(フラッシュライト画面上の電池アイコンが赤くなる)の場合、電池を交換する、又は充電してください。

電源自動オフ

- ヘッドカメラモード / マスターモードの場合、待機がオンになり、90 秒以上操作しない場合、フラッシュライトはスリープ状態になります。
→シャッターボタンを半押しするか、本体の任意のボタンを押してウェークアップします。
- ヘッドカメラモード / マスターモードの場合、待機がオフになり、自動オフがオンになり、60 秒以上 (30 分又は 90 分) 操作しないと、フラッシュライトは自動的にオフになります。
→再起動
- スリープモードの場合、自動オフがオンになり、60 秒以上 (30 分又は 90 分) 操作しないと、フラッシュライトは自動的にオフになります。
→再起動

自動ズームが動作しない

- フラッシュライトはカメラにしっかりと装着されていません。
→フラッシュライトのホットシューをカメラにしっかりと装着してください。

フラッシュ露出不足又は露出過度

- 高速同期を使用しています。
→高速同期を使用すると、有効なフラッシュ範囲が小さくなり、被写体が表示される有効フラッシュ範囲内にあることを確認してください。
- フラッシュライトは手動露出モードを使用しています。
→ TTL モードに変更し、又はフラッシュ出力の設定を修正します。

写真に暗い角が現れ、又は被写体の局所しか照らしていない

- カメラレンズの焦点距離はフラッシュライトのカバー範囲を超えています。
→フラッシュライトの現在のフラッシュカバー範囲をチェックしてください。この製品の口金のズーム範囲は全画幅システム 28-105 mm です。

ファームウェアアップデート

- この製品のUSBポートはUSB Type-Cポートであり、USB Type-Cの充電ケーブルを使用してください。
- 製品のファームウェアアップデートにはGodox G3 V1.1プログラムソフトウェアが必要です。ファームウェアをアップデートする前に「Godox G3 V1.1ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールした後、適切なファームウェアファイルを選択してください。
- 製品のファームウェアアップデートのため、説明書は最新の電子版をご参照ください。
- Godox G3 V1.1ファームウェアアップデートソフトウェアダウンロードサイト :<https://www.godox.com.cn/firmware-G3/>

利用できるカメラリスト

V100 C は、以下の CannonEOS シリーズのカメラモデルに利用できます。

80D、90D、7D、6D、70D、750D、760D、5DMarkIV、EOS 1DX、6DMarkII、77D、800D、5DMarkIII、5DMarkII、60D、7D Mark II、600D、50D、30D、40D、500D、M5、M3、M50、R、RP、M6II、R5、1500D、3000D、R7、R6II、R50、R8、R5C、R10、R100、R5II、R3、200DII

V100 S は、以下の Sony カメラモデルに利用できます。

α 77II、α 99、α 77、DSC-RX10、α 6000、α 7R、α 6400、α 7RII、α 7RIII、α 7M3、α 9、α 7RIV、α 7R5、α 7MIV、ZV-E10、α 58、ILCE6000L、α 7R3、α 350、α 9III

V100 N は、以下の Nikon カメラモデルに利用できます。

D800、D750 D700、D610、D500、D200、D300S、D5、D4、D810、D780、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3100、D60、Z6、Z7II、Z8、ZFC

V100 O は、以下の Olympus 又は Panasonic カメラモデルに利用できます。

オリンパス :E-M1、PEN-F、E-M10II、E-PL8、E-P5、E-M10III
松下 :GH4、LX100、DMC-GF1、DMC-G85、DMC-GX85、DMC-LX100、DMC-FZ2500GK、S1

V100 F は、以下の富士カメラモデルに利用できます。

富士のフラッシュライトに対する制御によって、次のカテゴリに分類されます。

カテゴリ A:X-Pro2、X-T20、X-T2、X-T1、GFX50s、GFX50R、X-T30、X-T4、X-T3、X-S20、X-T5、X-H2、X-T50

カテゴリ B:X-Pro1、X-T10、X-E1、X-A3

C 類 :X100F、X100T

対応できるカメラと機能比較表：

	セットトップフラッシュライト						
カメラ	TTL フラッシュ制御			M フラッシュ制御			重複フラッシュ
	前幕同期	後幕同期	高速同期	前幕同期	後幕同期	高速同期	
カテゴリ A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
カテゴリ B	✓	✓	--	✓	--	--	✓
カテゴリ C	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

	2.4G マスター・スレーブフラッシュライト						
カメラ	TTL フラッシュ制御			M フラッシュ制御			重複フラッシュ
	前幕同期	後幕同期	高速同期	前幕同期	後幕同期	高速同期	
カテゴリ A	√	√	√	√	√	√	√
カテゴリ B	√	√	--	√	√	--	√
カテゴリ C	√	--	--	√	--	--	√

カメラ	AF 補助フォーカスライト
カテゴリ A	√
カテゴリ B	--
カテゴリ C	--

- ❶** 1. カメラ X 100T は後幕同期と高速撮影機能とフォーカス補助ライトに対応できません。
2. カメラ X-Pro1/X-T10 は高速撮影機能とフォーカス補助ライトに対応できません。フラッシュライトは M モードの場合、カメラの前幕と後幕モードを変更できません。

- ▲** 1. この表は、現在試験されているカメラのモデルのみを記載しており、すべてのカメラは含まれていません。他のカメラモデルは、ユーザーが自分でテストすることができます。
2. 当社は、この表の内容を将来変更する権利を留保します。

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

適用な製品

本書類は『製品修理保証情報』（後記の説明をご覧ください。）に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品（セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等）はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授權されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効的な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間に超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適當に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適當に外部設備を挿したり抜いたりすること；落ちることや押しつぶすこと；不適當な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと；③神牛が授權されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法的授權、標準街、公開されていないこと；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれな、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外での部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることにについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器などの帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
そのほか	フラッシュチューブ、造形の電球、ケース、保護カバー、ロック装置、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：0755-29609320-8062